

【資料２】第２回総合戦略推進懇話会以降の修正箇所について（修正部分は冊子内赤字で表記しています）

No.	修正箇所		修正前	修正後	備考
1	全体	①文章（体裁） ②イメージカラー	①－ ②黄色で作成	① ・一部年号について和暦（西暦）表示 ・本文中の「石狩市」を「本市」に修正 ・「～こととします」を「～します」など、平易な表現に修正 ・一文を短くするほか、表現をシンプルに修正 ・表記をわかりやすく変更、追記 ②ハマナスカラーに色調を変更	①懇話会およびパブリックコメントにて、文書が見つらいとの意見を踏まえ、全体的に文章を見直し。 ②２期から３期へと変わったことが一目でわかるよう、変更。
2	表紙	①サブタイトル ②図	①検討中 ②（第２期と同様のデザイン）	①「 まちの持続 」に向けた、いしかりPRIDEの醸成 と設定 ② 図修正	①現在総合計画の期間中であり、当該計画は１期、２期と連続しているものであるということを踏まえ、２期と同様のサブタイトルを設定。 ②図を大きくし、色を変更。
3	P7	図	（追加）	・都市像：「 住み続けたい、住みたい 」と思う、魅力ある まちであり続ける を追加 ・人口ビジョン： 中期展望、長期展望 を追加	・都市像および人口ビジョンを追加することで、当該１ページで総合戦略の全体像を把握できるように修正。
4	P9（１）	具体的な事業	・空家活用促進	（削除）	・空き家事業は戦略目標５－（７）移住・定住の推進に集約。
5	P9（２）	①文章 ②具体的な事業	①４行目「また、地域内で暮らす、多様で多世代の誰もが地域社会の主体者として支え合い、コミュニティの活性化に資する活動を推進する。」 ② ・日本版ＣＣＲＣ構想を含めた地域包括ケアシステムの検討と構築 ・地域見守りネットワークの支援 ・福祉調整員の養成・研修 ・ふれあい広場いしかりの開催 ・福祉協力員の養成・研修	①（削除） ②（削除）および、次の２事業を追加 ・ 地域包括ケアシステムの推進 ・ 高齢者が集まる通いの場に対する支援	①当該項目は主に高齢者に係る事業が主であり、多世代を対象とした取組を当該項目では行っていないため、削除。 ② ・日本版ＣＣＲＣ構想は戦略目標５－（７）移住・定住の推進に集約。地域包括ケアシステムは構築済みであり、引き続き推進していく。 ・「通いの場」以外の事業は社会福祉協議会が独自に実施していることを踏まえ、記載を削除。 ・「通いの場」は地域にある高齢者が集まる場であり、市の委託を受けた社会福祉協議会が運営の支援をしていることを踏まえ、追加。
6	P12（３）	具体的な事業	・産後ケア（宿泊型・日帰り型・訪問型）の助成 ・各健診旅費の補助	・ 石狩市産後ケア事業（宿泊型・日帰り型・訪問型） に変更 ・ 石狩市妊産婦健康診査通院交通費等助成交付 に変更	・それぞれＨＰに記載されている正式名称に変更。
7	P15（１）	具体的な事業	・学校給食における地場産品の活用	・ 学校給食における「いしかりデー」の実施 に変更	・次期石狩市教育プランでも、学校給食において石狩産食材等を積極的に取り入れる「いしかりデー」を指標としており、変更。
8	P16（３）	具体的な事業	・無人配送の取組の推進	（削除）	・現時点において石狩湾新港地域内において無人配送の取組を実証する予定はないことから、削除（新港地域外では取組予定）。
9	P17（４）	具体的な事業	・マイクログリッドの推進	（削除）	・現時点において石狩湾新港地域内においてマイクログリッドの取組をする予定はないことから、削除。
10	P22（１）	文章	・石狩国際交流協会と協力し、市民が国際文化に触れる機会を提供することにより、異文化への相互理解を深め、国際感覚豊かな人材を育成する	・市民が国際文化に触れる機会を提供することにより、異文化への相互理解を深め、国際感覚豊かな人材を育成する	・石狩国際交流協会に限ったものではなく、他計画と表記を合わせる。
11	P22（２）	具体的な事業	・生活習慣病予防などの事業	・ 健康づくり事業 に変更 ・ モルックの実施 を追加	・名称を変更。 ・R6年度に厚田地区にてモルック大会を実施しており、今後も実施予定のため、追加。
12	P23（４）	具体的な事業	・空家活用促進	（削除） ・ 新規就農者育成総合対策事業 を追加	・空き家事業は戦略目標５－（７）移住・定住の推進に集約。 ・新規就農者に対する事業を別建てで追加。

【資料2】第2回総合戦略推進懇話会以降の修正箇所について（修正部分は冊子内赤字で表記しています）

No.	修正箇所		修正前	修正後	備考
13	P24（5）	①具体的な事業 ②K P I	① ・生物多様性（発信）に関する事業 ・グリーンインフラ事業の推進 ・環境教育推進事業（自然環境保全に関する取組） ・環境教育、環境学習の人材育成フィールドとしての展開 ・地域資源調査研究事業 ・石狩浜海浜植物等保護地区の拡大 ② ・R11年時	① ・生物多様性の保全に関する事業 ・グリーンインフラの推進 ・環境教育の推進 ・（削除） ・（削除） ・石狩浜海浜植物等保護地区などの保護区拡大 上述のとおり内容を変更 ②令和11年度末まで に変更	①実態に合わせて内容および表現を変更。 ②時期を明確化。
14	P25（8）	①具体的な事業 ②K P I	①G I G Aスクール構想推進事業 ②R11年時	①（削除） ②令和11年度末時点 に変更	①詳細の実務のみ残すこととしたため、削除。 ②時期を明確化。
15	P27（2）	K P I	・市内オンデマンド運行事業および通勤オンデマンド運行事業の合計利用者数 5年間で15万人	・市内AIデマンド運行事業および通勤AIデマンド運行事業の合計利用者数 5年間で10万人	・当初、通勤デマンド10,000人、市内オンデマンド15,000人を目指し、挑戦的な目標として年間30,000人の利用で指標を作成したが、担当課の協議を踏まえ、年間20,000人を目標とした。 ※（2024/4/1～2024/8/31 オンデマンド実績 市内1,871人、通勤4,261人） また、実態に合わせてオンデマンドの名称をAIデマンドに変更。
16	P29（7）	K P I	（追加）	・避難所運営訓練の実施箇所 5年間で40箇所 を追加	・懇話会意見も踏まえ、防災対策事業も重要であることから、防災対策事業の取組である当該事業をK P Iとして、追加。
17	P33（エ）	図表	（追加）	・図表4-2 自然増減と社会増減の推移 を追加	・2000年以降の自然増減と社会増減の状況を把握しやすくし、2018年以降の社会増が分かりやすいよう、追加。
18	P49, P50	図表	図表13、図表14の米印（追加）	※国勢調査は常住人口に関する調査であるため、上記の産業人口と特化係数は、石狩市の常住人口について集計したものを意味する を追加	・当該数値が石狩市の常住人口について集計したものであることが分かりやすいよう、追加。
19	P60（イ）	文章	（追加）	※屋間人口：従業地・通学地による人口（屋間人口）とは、従業地・通学地集計の結果を用いて、次により算出された人口のこと。 例） A市の屋間人口の算出方法 A市の屋間人口＝A市の常住人口－A市からの流出人口＋A市への流入人口 なお、令和2年国勢調査によると本市の屋間人口は61,280人となっている。 屋間人口（61,280人）＝常住人口（56,869人）－流出人口（12,066人）＋流入人口（17,017人）	・懇話会意見を踏まえ、追加。
20	P26	数値目標	石狩市を一時的に離れても、石狩市に戻ってきたいと思う30歳未満の割合（市民意識調査）100%	石狩市を一時的に離れても、石狩市に戻ってきたいと思う30歳未満の割合（市民意識調査）50% に変更	① 令和2年～令和5年の4年間の同目標の平均回答率が26%（市民アンケートに際し、「これからも石狩市に住み続けたいか」という質問に対して、住み続けたいと答えていないものの、「一時的に離れても戻ってきて住みたい」と答えた30歳未満を抽出）。 ② 中期展望にて、「20代の転出超過を50%軽減する」としている。 以上2点を踏まえ、20代の転出しても戻ってきて住みたいと思う人の割合を倍増することを目標とし、まず目指すべき数値を入れることとし、50%とした。